

「実需給2年度前の容量停止計画の調整業務」
の結果について
<対象実需給年度：2027年度>

2026年1月30日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

1.はじめに

2.容量停止計画の調整業務について

3.2025年度の調整業務の結果について

4.まとめ

(参考) 容量停止計画の調整業務期間中の公表情報

- 「容量停止計画の調整業務」は、定期補修等に伴い、電源の出力が停止又は抑制する時期が集中しないよう、容量確保契約を締結した電源を対象に、実需給年度の2年度前に行っている。
(本業務は2022年度に開始され、今回で4回目の取り組みとなる)
- 今回の調整対象は、実需給2027年度に容量確保契約を締結している以下の電源※であった。
 - 2023年度メインオークション（対象実需給年度：2027年度）で落札された電源
 - 長期脱炭素電源オークションで落札され、2027年度が制度適用期間となる電源

※安定電源、変動電源（単独）を対象
- 本日は、2025年11月～2025年12月に実施した容量停止計画の調整業務の結果について報告する。

2. 容量停止計画の調整業務について

3

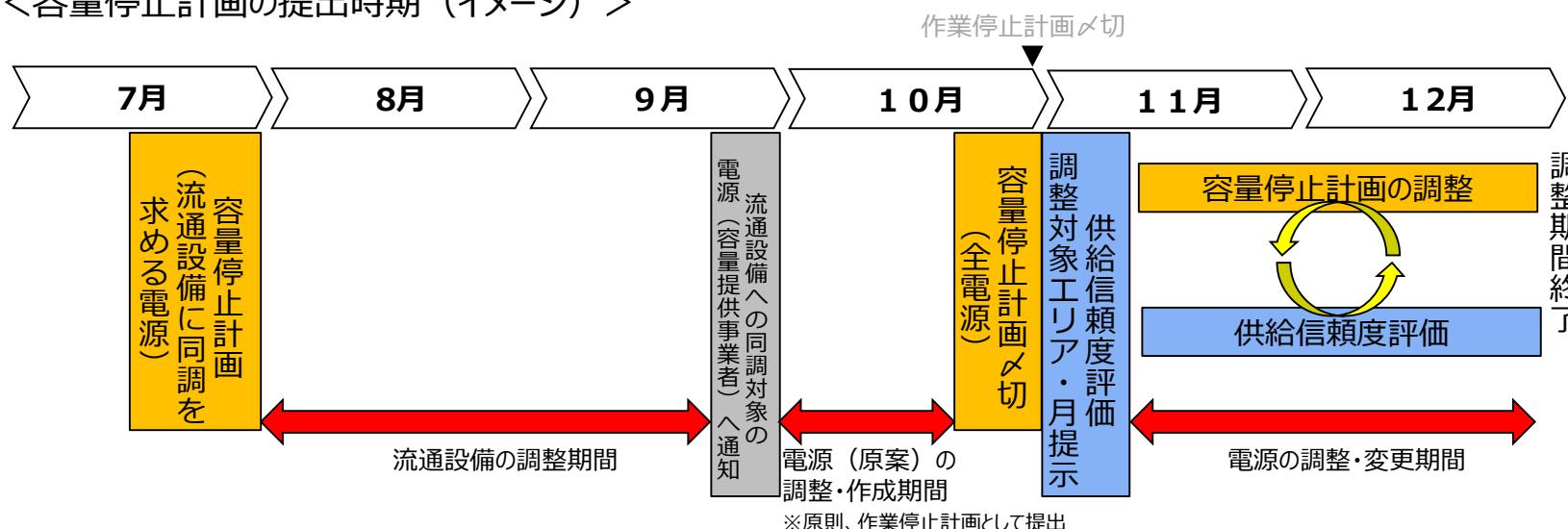
容量停止計画調整フロー

- 容量停止計画調整は以下のフローにより実施される。

- 全国の容量提供事業者は実需給 2 年度前に容量停止計画を広域機関へ提出する。
- 広域機関は容量停止計画を集約し、定期的に供給信頼度の確保状況等の情報提供※を行う。
- 広域機関が公表した情報をもとに、容量提供事業者は供給信頼度基準等を満たしていないエリア・月における容量停止計画の調整を行う。

※ 広域機関HPにおいて、「供給信頼度評価の算定結果」を更新しながら提供

<容量停止計画の提出時期（イメージ）>



2. 容量停止計画の調整業務について

(参考) 広域機関による容量停止計画の集約と情報提供

- 広域機関は容量提供事業者から提出された容量停止計画を集約し、調整期間中、定期的に供給信頼度評価の算定結果を更新・公表する。

<供給信頼度評価の算定結果の公表イメージ>

月	EUE基準値(kWh/kW・月)		EUE (kWh/kW・月)	作業可能量(MW) (参考値)		作業 停止量 (MW)
	①追加設備利用	②信頼度影響		①追加設備利用	②信頼度影響	
4月	0.000891	0.001933	0.000073	50,848	52,493	39,328
5月	0.001294	0.002408	0.000050	58,348	59,958	43,772
6月	0.001310	0.003478	供給信頼度 で確認	45,573 作業可能な量	7,377	停止量が 収まっている か確認
:	:	:	:	:	:	:
3月	0.000617	0.001515	0.000752	31,339	33,246	17,228

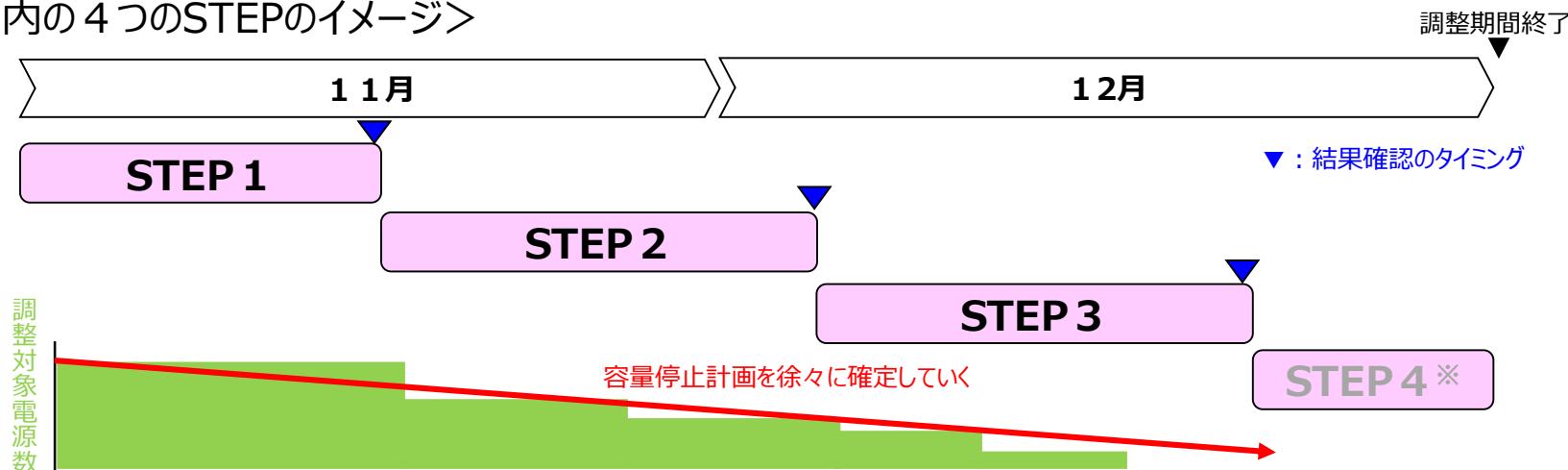
2. 容量停止計画の調整業務について

5

調整期間内におけるSTEPの設定

- 調整業務を実施するにあたり、多数の容量提供事業者が同時に調整を行うことから、短期間に円滑に進める工夫として、調整期間内に4つのSTEPを設定している。
- STEP毎に変更可能な条件を設定することで、段階的に容量停止計画の調整・確定が行われ、早い段階で調整するインセンティブも設けながら収束させていく方法としている。

<調整期間内の4つのSTEPのイメージ>



	条件
STEP1	全電源が自由に計画変更可能
STEP2	供給信頼度に影響を与える基準を超過する月への計画変更は不可
STEP3	調整不調月の電源以外は、計画変更不可（ただし、STEP2と同様の制約あり）
STEP4*	供給信頼度に影響がある場合のみ個別調整

*供給信頼度に影響を与える状況が解消される見込みがない場合に限り実施

3. 2025年度の調整業務の結果について

6

供給信頼度に影響を与える基準を超過する月数の推移

- 供給信頼度に影響を与える基準（以降、信頼度基準）を超過する月数は、以下のように推移した。
 - ▶ **北海道エリア、東北エリア、東京エリア**では、STEP1開始時は3エリアで延べ36か月のうち、5か月が信頼度基準を超過していたが、STEP3終了時で全ての月で信頼度基準を満たした。
 - ▶ **中部エリア～九州エリア**では、STEP1開始時は6エリアで延べ72か月のうち、18か月が信頼度基準を超過していたが、STEP3終了時で信頼度基準超過月数は15か月となり、**STEP4が実施された**。

<ブロック構成・基準超過月数の推移>

開始当初		STEP1終了時		STEP2終了時		STEP3終了時		最終結果	
ブロック	信頼度基準超過月数	ブロック	信頼度基準超過月数	ブロック	信頼度基準超過月数	ブロック	信頼度基準超過月数	ブロック	信頼度基準超過月数
北海道	3/12	北海道	3/12	北海道	1/12	北海道	0/36	北海道	0/36
東北	2/24	東北	2/24	東北	0/12	東北	4/24	東北	4/24
東京		東京		東京	1/12	東京	9/36	東京	9/36
中部		中部		中部	4/24	中部	2/12	中部	1/12
北陸		北陸		北陸	9/36	北陸		北陸	
関西		関西		関西	2/12	関西		関西	
中国		中国		中国		中国		中国	
四国		四国		四国		四国		四国	
九州		九州		九州		九州		九州	
全国合計		23/108		18/108		17/108		15/108	

(信頼度基準超過月数 / ブロックの延べ月数)

3. 2025年度の調整業務の結果について

7

最終的な供給信頼度評価の算定結果

■ 容量停止計画調整の結果、最終的に以下のブロック構成となった。

- ブロックA（北海道・東北・東京）、ブロックB（中部・北陸）、ブロックC（関西・中国・四国）、ブロックD（九州）

■ 最終的に各ブロック（エリア）の供給信頼度評価の算定結果は以下となった。

- ブロックA（北海道・東北・東京）は、すべての月で信頼度基準を満たした。
- ブロックB（中部・北陸）は、1月、2月を除き、信頼度基準を満たした。
- ブロックC（関西・中国・四国）の12月、1月、2月を除き、信頼度基準を満たした。
- ブロックD（九州）の1月を除き、信頼度基準を満たした。

<供給信頼度評価の算定結果>

緑塗箇所：追加設備量を利用する基準を超過している箇所（EUE基準）
赤塗箇所：供給信頼度に影響を与える基準を超過している箇所（EUE基準）
EUE：月間の供給信頼度(EUE)の値

ブロックA（北海道・東北・東京）

	EUE基準値 [kWh/kW・月]	EUE
	①追加設備利用 ②信頼度影響	[kWh/kW・月]
4月	0.01930	0.03588
5月	0.01855	0.03604
6月	0.02464	0.04925
7月	0.00670	0.00934
8月	0.01655	0.02110
9月	0.01445	0.02210
10月	0.03807	0.06211
11月	0.01459	0.02490
12月	0.00235	0.00424
1月	0.00205	0.00355
2月	0.00260	0.00456
3月	0.00872	0.01695
	0.00131	0.00215

ブロックC（関西・中国・四国）

	EUE基準値 [kWh/kW・月]	EUE
	①追加設備利用 ②信頼度影響	[kWh/kW・月]
4月	0.000588	0.004324
5月	0.000052	0.001138
6月	0.001396	0.009285
7月	0.00007	0.00036
8月	0.00009	0.00056
9月	0.00029	0.00172
10月	0.00240	0.01602
11月	0.00046	0.00438
12月	0.00001	0.00011
1月	0.00003	0.00027
2月	0.00001	0.00009
3月	0.00043	0.00406
	0.000000	0.000000

ブロックD（九州）

	EUE基準値 [kWh/kW・月]	EUE
	①追加設備利用 ②信頼度影響	[kWh/kW・月]
4月	0.25549	0.54721
5月	0.18562	0.39115
6月	0.14891	0.29368
7月	0.00987	0.01989
8月	0.01683	0.03331
9月	0.03122	0.06231
10月	0.17928	0.35865
11月	0.08303	0.17544
12月	0.00839	0.01797
1月	0.01369	0.02783
2月	0.01170	0.02309
3月	0.09311	0.18487
	0.00425	0.00536

3. 2025年度の調整業務の結果について 調整期間終了後の対応

8

- 調整期間終了後において、供給信頼度に影響を与える基準等を満たしていないエリア（ブロック）・月に停止計画を提出している電源は、調整不調電源と判定され、容量確保契約金額の減額の対象となる。
- 引き続き、容量確保契約金額の減額の対応を進めている。

- 今回、2023年度メインオークション（対象実需給年度：2027年度）により確保された供給信頼度基準をもとに、**実需給2年度前の容量停止計画の調整**が行われた。
- 容量停止計画の調整期間中、広域機関により、容量停止計画の集約と供給信頼度の確保状況等の情報提供を行い、公表された情報をもとに**容量提供事業者による容量停止計画の調整**が行われた。
- 容量停止計画の調整の結果については、実需給1年度前（2026年度）に行う追加オークションや供給計画のとりまとめ、需給検証等と連携していくとともに、必要に応じて追加調達や作業停止計画の調整等が行われることとなる。
- 今回の容量停止計画の調整の推移や、事業者からの質問・ご意見等も参考として、次年度以降の容量停止計画調整がより円滑となるよう、**業務マニュアル、各種公表資料の充実**を図る。

<調整期間中の供給信頼度評価の情報提供>

- ① 「供給信頼度の確保状況」<週 2 回公表>

<https://www.occto.or.jp/various/capacity-market/jitsujukyukanren/chousei/2027-kyoukyushinraidokakuhojoukyou.html>

<計画提出時の実務上の留意点>

- ② 「容量停止計画調整の留意事項」<2025/7/18公表>

https://www.occto.or.jp/assets/market-board/market/jitsujukyukanren/chousei/2027/files/20250718_teishikeikaku_point_r1.pdf